

▼令和7年度各会計の当初予算

区分		予算額
一般会計		438億2000万円
特別会計	国民健康保険事業費	83億821万円
	介護保険事業費	81億1381万円
	後期高齢者医療	13億5170万円
	矢部診療所	1億684万円
	串毛財産区	80万円
	木屋財産区	432万円
企業会計（水道事業）		19億2583万円
企業会計（下水道事業）		21億7449万円

令和7年度の予算決定

ふるさとの恵みと誇りを未来へ

3月定例会は、2月25日から3月21日までの25日間の会期で開催しました。

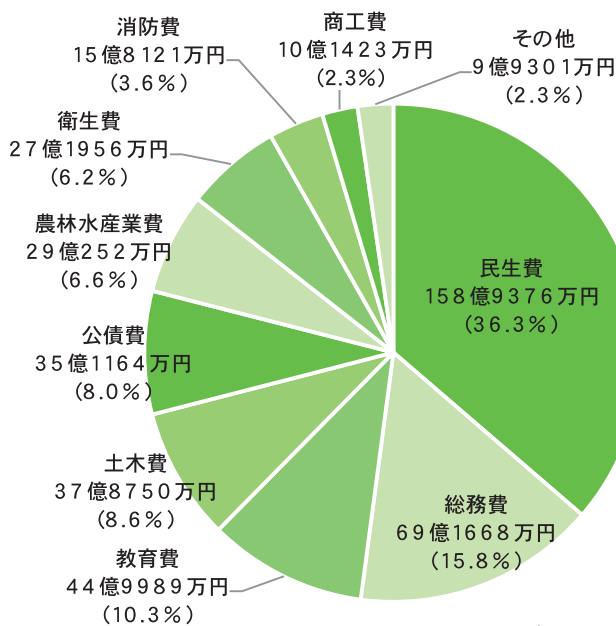
市長より提案された議案等は、一般会計予算案、条例改正案などが提出され、いずれも原案どおり可決・同意等しました。

令和7年度の各会計の当初予算は左の表のとおり可決しました。

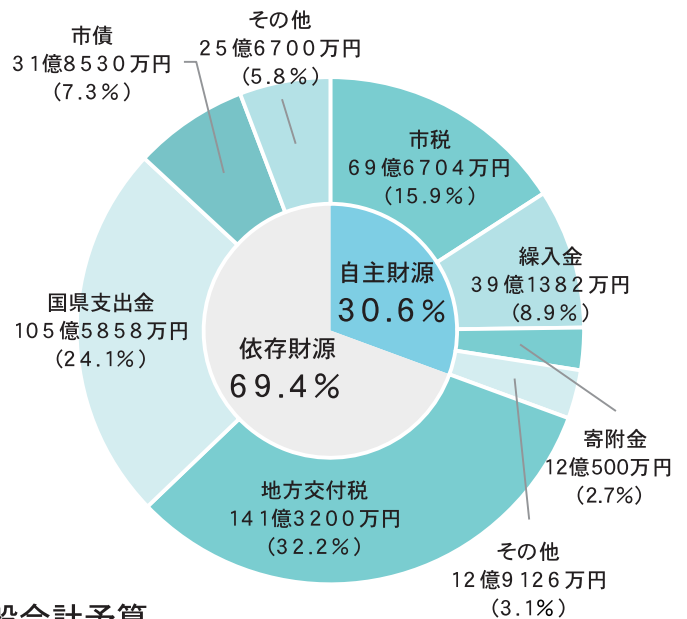
（表と円グラフの予算額は千の位を四捨五入）

※議案の賛否表は19～21ページ

歳出（支払うお金）



歳入（入ってくるお金）



令和7年度一般会計予算

438億2000万円

用語解説

【民生費】児童、高齢者、障がい者等の福祉に要する費用等

【総務費】全体的な管理事務、財政・会計管理事務に要する費用等

【土木費】道路、河川、住宅、公園など公共施設の建設整備の費用

【公債費】借入金の元本や利子などの返済費用

【衛生費】ごみなど一般廃棄物の収集・処理など公衆衛生の費用等

【地方交付税】市の財政力に応じて国から交付されるお金

【国県支出金】市が行う事業に対して国・県から交付されるお金

【市債】事業の財源に充てるため国などから借りたお金

討論（令和7年度一般会計予算）

令和7年度八女市一般会計予算について討論しました。

討論の内容は、以下のとおりです。

賛成討論

原田英雄議員

1. 予算の総額

新規事業16件、拡充事業21件を含む積極的な予算である。市民が安心して暮らせる生活基盤づくりをはじめ、子育て教育支援や産業活性化対策、人口減少対策など新たな対策に積極的に取り組むとともに、既存事業の見直しを進めており、創意工夫された予算編成となっている。

2. 歳入

国際情勢や物価高騰等の中、地方交付税の増加やふるさと納税の増収が見込まれている。国県補助金等の特定財源を有効に活用し、効率的な財源確保に努められている。

3. 歳出

子育て教育政策として中学生までの医療費完全無償化など子育て世代への重層的支援と負担軽減策が盛り込まれている。また、経済活性化対策としては、伝統本玉露対策、農林業振興対策、有害鳥獣対策など地場産業が抱える様々な課題に対応した新たな政策が準備されている。さらに安心して暮らせる生活基盤作りとして買い物困窮者対策、介護サービス確保など福祉環境の充実に取り組むとともに、自然災害に備えた道路や河川の整備など誰もが安心して暮らせるよう、様々な政策が計画されている。

服部良一議員

1. 市長車の電気自動車導入

現行のアルファードから燃費の良い電気自動車に変更することは適切である。ガソリン使用を抑え、災害時には非常電源としても活用できる。財政負担を考え、効率的な車両運用が求められる。

小山和也議員

1. 市長車の電気自動車導入

リースアップ時に車両を返却し、電気自動車を導入することは合理的である。高級車2台の必要性に対する市民の疑問に応え、電気自動車に変更することで市民の納得を得られる。リース代が安くなる可能性があり、経済的にも合理的である。

反対討論

森茂生議員

1. 戸籍住民基本台帳のフリガナ記載

現在のマイナンバーカードにはフリガナを入れられず、新しいカードが発行されてから対応される予定である。制度を急いだ結果、フリガナがないことで紐付けの問題が発生した。マイナンバーカードと戸籍、運転免許証や健康保険証との紐付けは情報漏洩が起きた場合の被害が大きくなる。

2. 児童給付費

保育所の入所に関して、待機児童は0人だが、希望する保育所に入れない子どもがいる。兄弟で別々の保育所ではなく一緒に保育所に通わせたいなど保護者の要求に応えるため、保育所の定員を大幅に増やし、早急な対策が必要である。

3. 人権同和政策費

多額の同和関連予算が含まれている。同和の特別扱いはやめ、公平で透明性のある予算配分を求める。

4. 農業振興費

環境保全型農業直接支払事業補助金は、地球温暖化防止のための金額としては少額である。八女市食料農業農村基本計画の中でも基本理念で、安全で安心な農産物の生産と供給となっているが、その理念を実現するための予算になっているとは思えない。

牛島孝之議員

1. 市長車の電気自動車導入

現行の公用車を令和10年までリース契約があるため、そのまま使用すべきである。CO2削減のために電気自動車が優れているかもしれないが、電気を作るためには化石燃料や原子力を使用している。他の自治体に先駆けて導入することで宣伝効果はあるかもしれないが、急いで変更するべきではない。

条例の制定・改正、請願

市の条例とは、特定の市（自治体）及びその地域の住民が守るべきルールや規則を法令の範囲において定めたものです。市の条例は、法令の定めをもとにするものや、地域の特性やニーズに基づいて作られ、住民の生活をより良くするためのものなど様々なものがあります。条例を制定・改正するには、議会での過半数の賛成が必要です。

議案第5号 八女市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び八女市税条例の一部を改正する条例の制定について

改正の背景・理由

国民の利便性の向上を目的に、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正され、個人番号カードとスマートフォンを所持する者が希望すれば、個人番号カードが保有している基本4情報等（氏名、生年月日、住所、性別、個人番号、顔写真）をスマートフォンに搭載できるようになる。（施行日：令和7年4月1日）この法律改正より、引用する条例の条項が1つずつずれるため、条例の改正を行うもの。

反対討論（古賀邦彦議員）

個人番号カード情報をスマートフォンに搭載できるようにするものだが、セキュリティ対策が不十分な場合、情報漏洩のリスクが高まる。

議案第10号 地域包括支援センターの運営及び職員の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

改正の背景・理由

地域包括支援センターの職員の基準や員数については、厚生労働省令で定める基準に従い条例で定めることとされており、地域包括支援センターの職員の人材確保が困難となっている現状等を踏まえ、柔軟な職員配置を可能とするため、当該基準の改正が行われた。この改正に伴い、八女市の条例においても同様の改正を行うもの。

反対討論（森茂生議員）

改正が行われても実情は変わらないかもしれないが、条文化されることで制度の後退になるのではないかと。

議案第14号 八女市遊休公共施設等利活用促進条例の制定について

条例の主な内容

1. 目的

現在、利用がなく、施設として活用していない遊休公共施設等の利用を促進し、事業の波及効果によって周辺地域の活性化を図ることが求められている。そのため、遊休公共施設等を使って事業を行う法人等に対し、奨励措置を講じることにより、事前に減免などの条件提示をすることで事業者の参入意欲を高め、有効活用の促進を図る。

2. 制定内容

遊休公共施設を利活用した地域活性化に資すると認定される事業を行う法人等に対し、奨励措置を規定する。なお、適用事業者の指定に当たっては、有識者等によって構成される審議会で審議する。

3. 奨励措置の内容

- ①減額譲渡 ②減額貸付 ③固定資産税を最大3年間免除

議案第15号 八女市ホテルの誘致に関する条例の制定について

条例の主な内容

1. 目的

八女市に観光や商談等で来訪する方が増加する一方、市内において利用できる宿泊施設が不足していることから、やむを得ず市外のホテル等に宿泊するケースが見受けられ、地域経済において損失が生じている。このことから、ホテル事業者によるホテルの立地を促進するための奨励措置を講じ、市内の経済の活性化及び雇用機会の拡大を図るもの。

2. 制定内容

八女市において、宿泊定員70人以上のホテルを

- ①新築し、新規に常用雇用者（※）を5人以上雇用するホテル事業者
 - ②増築し、又は改築し、常用雇用者（※）を継続雇用するホテル事業者
- に対して、以下の奨励措置を講じる。

※常用雇用者は、八女市に住民票を有する者に限る。

3. 奨励措置の内容

- ①宿泊施設を設置するために必要な情報及び資料の提供
- ②雇用奨励金の交付
- ③建築費等補助金の交付

反対討論（坂本治郎議員）

近隣自治体の事例を見ても、市場の需要が有ればホテルは自然と建ち、無ければ建たない。市場原理による新規参入に委ねるのが適切だと考える。

請願第1号 八女市地域環境と太陽光発電所事業の調和に関する条例の制定を求める請願

請願者…川崎 亨滋 氏 紹介議員…花下 主茂 議員

請願要旨

この請願は、太陽光発電設備の適正な設置、維持管理および撤去等に関し必要な事項を定め、八女市の良好な環境と市民の安全・安心な暮らしを守るために条例の制定を求めるもの。

請願者への質疑の内容（厚生常任委員会）

問 地域でも太陽光発電設置に反対する話を聞いたが、そういう人たちとの連携はされていないのか。

答 個人的にはいろんな方に話をしているが、デリケートな問題があり、組織として連携するのは難しい一面があり、今回は個人として請願した。

問 八女市は再生可能エネルギーを増やして、自然エネルギーに変えていきたいという方向性があり、カーボンニュートラルを目指すにあたって、八女では太陽光しかないと思っている。太陽光発電を増やしていくことについては異論はないということによろしいのか。

答 あらゆる太陽光発電を規制しようと言っているわけではない。むしろ、再生可能エネルギーの普及は進めてほしいが、無計画に施設が設置され、治水や将来の発電設備撤去などに問題を残すようなことがあってはならないので、条例を制定することにより市が統括監視することを願っている。

問 今回の請願の主目的は、条例を制定するという方向性、あるいは制定するという結論を出せばいいということによいのか。

答 まず八女市で条例を作っていただくということを採択していただきたい。

審議と採決（厚生常任委員会）

質疑後の審議の中では、市民の安全と安心のために条例を制定する方が良いという意見が多数でした。厚生常任委員会として全員賛成で本会議に報告しました。

本会議での採決結果

厚生常任委員長の報告後、本会議で採決した結果、全員賛成で採択とすることに決定しました。